

資料3

紙・パルプアンケート調査の途中経過について

(2019年2月22日(金)9時時点)

2019年02月28日

株式会社野村総合研究所
コンサルティング事業本部

現時点で荷主109社、貨物自動車運送業144社、物流企業20社が回答

■ Q1: 貴社の業種を選択してください。(複数該当する場合は、最も当てはまるもの)

(単一回答)	回答数	割合
1. 製造業	23	8.4%
2. 卸売業	73	26.7%
3. 小売業	5	1.8%
4. 印刷業	8	2.9%
5. 3PL	3	1.1%
6. 倉庫業	17	6.2%
7. 貨物自動車運送業	144	52.7%
全体	273	100.0%

荷主109社のうち、調達部門が38社、販売部門が71社回答

■ Q2: ご担当されている部門をお答えください。

(単一回答)	回答数	割合
1. 調達に関する物流を担当	38	34.9%
2. 販売に関する物流を担当	71	65.1%
全体	109	100.0%

代表的な品目は、新聞巻紙取・印刷・情報用紙、衛生用紙(家庭紙)、段ボール原紙

■ Q3: 紙・パルプ製品のうち、最も代表的な品目名を1つお答えください。

- 代表的な品目は、新聞巻紙取・印刷・情報用紙(28.0%)、衛生用紙(家庭紙)(14.6%)、段ボール原紙(14.6%)、紙器用板紙(白板紙、色板紙、チップボール等)(12.3%)となっている。

(単一回答)	回答数	割合
1. 新聞巻紙取・印刷・情報用紙	146	28.0%
2. 包装用紙	49	9.4%
3. 衛生用紙(家庭紙)	76	14.6%
4. 雑種紙(工業用、家庭用)	34	6.5%
5. 段ボール原紙	76	14.6%
6. 段ボール(完成品)	41	7.9%
7. 紙器用板紙(白板紙、色板紙、チップボール等)	64	12.3%
8. 雑板紙(建材原紙、紙管原紙、その他板紙)	35	6.7%
全体	521	100.0%

繁忙期や特定時間帯はバースが埋まっていて入庫を受けれないが全体の42.1%

■ Q36: 貴社の物流において、現在直面している問題をお答えください。ここでは自社の入荷倉庫における問題をお答えください。(いくつでも)

- 「繁忙期や特定時間帯はバースが埋まっていて入庫を受けれない」が42.1%、次いで「荷卸しが手作業で時間がかかる」が31.6%となっている。

(複数回答)	回答数	割合
1. 繁忙期や特定時間帯はバースが埋まっていて入庫を受けれない	16	42.1%
2. 荷卸しが手作業で時間がかかる	12	31.6%
3. 検品に時間がかかっている	3	7.9%
4. その他	15	39.5%
全体	38	100.0%

トラックや人手の不足と、物流拠点の問題を指摘

- Q36: 貴社の物流において、現在直面している問題をお答えください。ここでは自社の入荷倉庫における問題をお答えください。(いくつでも)

その他 (自由回答)	トラック & 人手不足	人手不足
		トラックが取りにくくなっている。
		トラックがとりにくくなっている
		求人をして人もこない
	積載率	満載重量にするだけの商品が揃わないときが多い
	物流拠点 面	作業スペースが狭い
		入庫即出庫となるケースが多く、納入時間と出庫時間のバランスをとることが大変
		外部委託
		同時に複数のトラックが入ってきた場合、数十分待たせてしまうことがある
		保管場所が狭い
	その他	入荷時の荷傷発生件数が減少しない。
		ほとんどがメーカーからユーザーへの直納のため入庫での大きな問題はない

「配送は委託しておりサプライヤー倉庫の状況は分からない」回答が50%

- Q37: 貴社の物流において、現在直面している問題をお答えください。ここではサプライヤー倉庫における問題をお答えください。(いくつでも)

(複数回答)	回答数	割合
1. 指定時間に合わせるために事前待機する駐車場がない	5	13.2%
2. バースが空いておらず、到着後に待たされる	7	18.4%
3. サプライヤーの出荷準備ができておらず到着したトラックが引き返している	2	5.3%
4. サプライヤーの出荷準備が遅く待たされる	7	18.4%
5. 検品に時間がかかっている	2	5.3%
6. 荷積みが手作業で時間がかかる	4	10.5%
7. その他	4	10.5%
8. 配送は委託しておりサプライヤー倉庫の状況は分からない	19	50.0%
全体	38	100.0%

その他 (自由回答)	繁忙期のトラック不足
	倉庫担当者が荷積みしてくれず、ドライバーが荷積みするケースあり。

「繁忙期や特定時間帯は出庫が間に合わない」の回答が59.2%

- Q38: 貴社の物流において、現在直面している問題をお答えください。ここでは自社の出荷倉庫における問題をお答えください。(いくつでも)

(複数回答)	回答数	割合
1. 繁忙期や特定時間帯は出庫が間に合わない	42	59.2%
2. 荷積みが手作業で時間がかかる	22	31.0%
3. 検品に時間がかかっている	7	9.9%
4. その他	21	29.6%
全体	71	100.0%

出荷倉庫ではトラックの手配への問題に対する検討

- Q38: 貴社の物流において、現在直面している問題をお答えください。ここでは自社の出荷倉庫における問題をお答えください。(いくつでも)

その他 (自由回答)	トラックの手配	即日手配が多い。
		配送車両の確保に苦勞している
		ドライバー不足
		トラック及び運転手の不足
		慢性的なトラック不足、運転手不足
		輸送便の不足
		トラックが取りにくくなっている
		急な手配への対応
		配送費高騰、トラック不足
		人手不足
	注引量が不定期なためトラックが集まらない時がある	
	物流拠点面	自社倉庫からの出荷は少ないので大きな問題はない
		物量の波動により出庫予定時間が遅れる。
		自社倉庫ではない
		他部所が管轄のため
商取引面	引取車両が集中する	
	倉庫の利用頻度が低い為、特に問題は見当たりません	
	リードタイムが短い	
		繁忙期や特定時間帯は配車が組めず、納期調整が必要となる場合がある

半数が顧客の荷受け準備が遅く待たされると回答

■ Q39: 貴社の物流において、現在直面している問題をお答えください。ここでは顧客倉庫(バックヤードなどの納品先)における問題をお答えください。(いくつでも)

- 「顧客の荷受け準備が遅く待たされる(49.3%)」が多く、次いで「バースが空いておらず、到着後に待たされる(40.8%)」、「指定時間に合わせるために事前待機する駐車場がない(33.8%)」、「荷卸しが手作業で時間がかかる(33.8%)」となっている。

(複数回答)	回答数	割合
1. 指定時間に合わせるために事前待機する駐車場がない	24	33.8%
2. バースが空いておらず、到着後に待たされる	29	40.8%
3. 顧客の荷受け準備ができておらず到着したトラックが引き返している	5	7.0%
4. 顧客の荷受け準備が遅く待たされる	35	49.3%
5. 検品に時間がかかっている(汚損や破損で返品となる等)	15	21.1%
6. 荷卸しが手作業で時間がかかる	24	33.8%
7. その他	10	14.1%
8. 配送は委託しており顧客倉庫の状況は分からない	10	14.1%
全体	71	100.0%

各種附帯業務が問題とする回答が多い

- Q39: 貴社の物流において、現在直面している問題をお答えください。ここでは顧客倉庫(バックヤードなどの納品先)における問題をお答えください。(いくつでも)
 - 自由回答では、「一部、自主荷役対象客先がある(現在、当該客先と交渉中)」、「付帯作業について」、「附帯作業有」、「荷卸し作業が必要な納品先がある。」、「得意先での棚入れ作業等で時間がかかる」といった附帯作業に対する回答が多くなっている。

その他 (自由回答)	時間指定	納品時間帯(午前中)の指定があると効率の良い配送ができない。
	荷待ち時間	朝一納品指定、到着順の荷降ろしが殆どであることから常時待機時間が発生している。
	施設のキャパ	バースが空いても積み下ろし作業者が足りないため待たされる
		基本、配送は委託しており詳しい状況は分からないが、顧客倉庫の保管スペースが少なく、1回あたりの配送数量が細くなる場合もある
		納品口が無く路上駐車が発生。納品口から倉庫までの導線が長い。
	附帯業務	一部、自主荷役対象客先がある(現在、当該客先と交渉中)
		付帯作業について
		附帯作業有
		荷卸し作業が必要な納品先がある。
		得意先での棚入れ作業等で時間がかかる

「トラック到着時間を細かく指定されており、スケジュール最適化を進めにくい」が45.9%

■ Q40: 貴社の物流において、現在直面している問題をお答えください。ここではトラックの配車や輸送における問題をお答えください。(いくつでも)

- トラックの配車や輸送における問題としては、「トラック到着時間を細かく指定されており、スケジュール最適化を進めにくい」が45.9%と多くなっている。

(複数回答)	回答数	割合
1. トラック到着時間を細かく指定されており、スケジュール最適化を進めにくい	50	45.9%
2. トラックの積載率が低い	24	22.0%
3. 移動中の振動により荷傷みが発生している	8	7.3%
4. その他	22	20.2%
5. 配送は委託しておりトラックの状況は分からない	29	26.6%
全体	109	100.0%

トラック不足と商取引に起因する問題が多く指摘

- Q40: 貴社の物流において、現在直面している問題をお答えください。ここではトラックの配車や輸送における問題をお答えください。(いくつでも)

その他 (自由回答)	トラック不足	繁忙期にトラック確保が難しい
		配車時に車両が不足する
		物流会社の確保が困難
		製品の手積み手降ろしが多く、附帯作業が多く運転手が定着しない。
		車種指定がある。
	物流施設面	縦持ち、横持、2～3階納品が多い
		駐車場がないもしくはトラックの高さ制限が低い。
		特定時間(特に夕方)に於ける運行経路の渋滞
	商取引面	集荷件数を削減された(5カ所→3カ所)
		出荷オーダー時間が遅くトラック確保が難しい場合がある
		トラック不足による納期調整の発生等
		午前中着の客先が多く午後便が組みづらく、車両が多く必要。商品を手積み手降ろしせざるを得ないので、ドライバーの確保が難しい。客先がスーパーマーケット等で営業日数が多く納品要請があるので、年末年初、GW、盆、土曜日の休みがとりづらい。
		曜日で積載の変動が大きい
	基本、配送は委託しており詳細は変わらないが、Q38の通り繁忙期や特定時間帯は配車が組めず、納期調整が必要となる場合がある	

運送会社と一緒に配送計画の見直しや契約や納入ルールの見直しを実施

■ Q43: 貴社の物流効率を高めるために、ここ3年ぐらいで取り組んだ施策をお教えてください。(いくつでも)

	1 自社のみ で実施	2 同業他社 と一緒に取り 組んだ	3 サプライ ヤーと一緒に 取り組んだ	4 運送会社 と一緒に取り 組んだ	5 その他の 関係者と取り 組んだ	6 取り組ん でいない	全体
1. 契約や納入ルールの見直し	30	14	36	39	8	17	109
	27.5%	12.8%	33.0%	35.8%	7.3%	15.6%	100.0%
2. 荷待ち時間の削減施策	30	13	27	37	10	31	109
	27.5%	11.9%	24.8%	33.9%	9.2%	28.4%	100.0%
3. 荷役時間の削減施策	32	11	29	35	10	36	109
	29.4%	10.1%	26.6%	32.1%	9.2%	33.0%	100.0%
4. 検品などのその他業務時間の削減	33	5	25	20	12	45	109
	30.3%	4.6%	22.9%	18.3%	11.0%	41.3%	100.0%
5. 配送計画の見直し	33	9	28	47	5	16	109
	30.3%	8.3%	25.7%	43.1%	4.6%	14.7%	100.0%
6. 積載率の向上	33	7	28	37	9	18	109
	30.3%	6.4%	25.7%	33.9%	8.3%	16.5%	100.0%
7. 稼働率の向上	34	9	19	37	3	33	109
	31.2%	8.3%	17.4%	33.9%	2.8%	30.3%	100.0%
8. 中継輸送等他社との連携	9	5	15	27	1	66	109
	8.3%	4.6%	13.8%	24.8%	0.9%	60.6%	100.0%
9. 共同輸送など他社との連携	3	29	26	30	1	55	109
	2.8%	26.6%	23.9%	27.5%	0.9%	50.5%	100.0%

契約や納入ルールの見直しを実施が51.4%

■ Q46: 貴社の物流効率を高めるために、今後取り組んでみたい施策をお答えください。なお、「配送計画の見直し」、「積載率の向上」はトラックの手配を実施されている方のみご回答ください。(いくつでも)

- 「契約や納入ルールの見直しを実施」が51.4%と最も多く、次いで「共同輸送など他社との連携」が45.0%、「荷待ち時間の削減施策」が42.2%となっている。

(複数回答)	回答数	割合
1. 契約や納入ルールの見直し	56	51.4%
2. 荷待ち時間の削減施策	46	42.2%
3. 荷役時間の削減施策	35	32.1%
4. 検品などのその他業務時間の削減	24	22.0%
5. 配送計画の見直し	41	37.6%
6. 積載率の向上	29	26.6%
7. 稼働率の向上	18	16.5%
8. 中継輸送等他社との連携	24	22.0%
9. 共同輸送など他社との連携	49	45.0%
10. その他	7	6.4%
全体	109	100.0%

今後の取り組みとしては、商取引にも踏み込んだ対応が見受けられる

- Q46: 貴社の物流効率を高めるために、今後取り組んでみたい施策をお答えください。なお、「配送計画の見直し」、「積載率の向上」はトラックの手配を実施されている方のみご回答ください。(いくつでも)
 - 「得意先との納入時間と配送回数の交渉」、「軒先渡しの実施」、「納品時間の変更」、「3PLの活用」、「業者より申入れのある内容に個別に協議していきたい。」との回答があった。

その他 (自由回答)	得意先との納入時間と配送回数の交渉
	軒先渡しの実施
	納品時間の変更
	3PL
	業者より申入れのある内容に個別に協議していきたい。

繁忙期や特定時間帯はバースが埋まっていて入庫を受けれない/出庫が間に合わない

■ Q48: 各場所において、現在直面している問題をお答えください。(いくつでも)

- 紙・パルプ製品の工場や倉庫での「繁忙期や特定時間帯はバースが埋まっていて入庫を受けれない/出庫が間に合わない」(57.9%)、卸売業・代理店の倉庫での「繁忙期や特定時間帯はバースが埋まっていて入庫を受けれない/出庫が間に合わない」(41.5%)、卸売業・代理店の倉庫での「荷積みや荷卸しが手作業で時間がかかる」(30.5%)となっている。

	1 繁忙期や特定時間帯は バースが埋まっていて入 庫を受けれない/出庫が 間に合わない	2 荷積みや荷卸しが手 作業で時間がかかる	3 検品に時間がかかって いる	4 その他	5 業務を受託していない	全体
1. 紙・パルプ製品の工場や倉庫	95	47	26	32	19	164
	57.9%	28.7%	15.9%	19.5%	11.6%	100.0%
2. 卸売業・代理店の倉庫	68	50	31	13	50	164
	41.5%	30.5%	18.9%	7.9%	30.5%	100.0%
3. 小売り量販の物流センター	44	37	27	6	87	164
	26.8%	22.6%	16.5%	3.7%	53.0%	100.0%

紙・パルプ製品の工場や倉庫でのパース混雑や準備が遅いことが指摘

■ Q49:各場所において、現在直面している問題をお答えください。ここでは荷役に関連した問題をお答えください。(いくつでも)

- 紙・パルプ製品の工場や倉庫では「倉庫側の出荷/入荷準備が遅く待たされる」(54.3%)、「バースが空いておらず、到着後に待たされる」(42.1%)といった問題の指摘が多い。

	1 1 指定時間に合わせるために事前待機する駐車場がない	2 2 バースが空いておらず、到着後に待たされる	3 3 倉庫側の出荷/入荷準備ができず、到着後に待たされている	4 4 倉庫側の出荷/入荷準備が遅く待たされる	5 5 検品に時間がかかっている汚損や破損で返品となる等	6 6 荷積みが手作業で時間がかかる	7 7 料金収受なく、附帯業務検品や仕分けなどの手伝いを行っている	8 8 その他	9 9 業務を実施していない	全体
1. 荷積み : 紙・パルプ製品の工場や倉庫	37 22.6%	69 42.1%	19 11.6%	89 54.3%	30 18.3%	42 25.6%	30 18.3%	18 11.0%	14 8.5%	164 100.0%
2. 荷積み : 卸売業・代理店の倉庫	35 21.3%	47 28.7%	15 9.1%	60 36.6%	32 19.5%	35 21.3%	19 11.6%	8 4.9%	57 34.8%	164 100.0%
3. 荷卸し : 紙・パルプ製品の工場や倉庫	51 31.1%	61 37.2%	16 9.8%	75 45.7%	33 20.1%	40 24.4%	20 12.2%	20 12.2%	21 12.8%	164 100.0%
4. 荷卸し : 卸売業・代理店の倉庫	44 26.8%	59 36.0%	12 7.3%	62 37.8%	36 22.0%	36 22.0%	22 13.4%	9 5.5%	44 26.8%	164 100.0%
5. 荷卸し : 小売り店のバックヤード	29 17.7%	31 18.9%	7 4.3%	24 14.6%	26 15.9%	28 17.1%	15 9.1%	6 3.7%	95 57.9%	164 100.0%
6. 荷卸し : 小売り量販の物流センター	19 11.6%	33 20.1%	12 7.3%	39 23.8%	26 15.9%	32 19.5%	15 9.1%	7 4.3%	89 54.3%	164 100.0%

トラック到着時間を細かく指定されており、スケジュール最適化を進めにくいとの意見

■ Q50: 紙・パルプの物流において、現在直面している問題をお答えください。ここではトラックの配車や輸送に関連した問題をお答えください。

- 「トラック到着時間を細かく指定されており、スケジュール最適化を進めにくい」(50.6%)と最も多く、次いで「高速道路を利用が求められるが適正運賃を受け取れていない」(42.0%)との指摘が多い。

(複数回答)

	回答数	割合
1. トラック到着時間を細かく指定されており、スケジュール最適化を進めにくい	82	50.6%
2. トラックの積載率が低い	60	37.0%
3. 移動中の振動により荷傷みが発生している	32	19.8%
4. 高速道路を利用が求められるが適正運賃を受け取れていない	68	42.0%
5. その他	45	27.8%
全体	162	100.0%

自社のみで実施した施策が多く、取り組んでいないも多い

- Q52: 貴社の物流効率を高めるために、ここ3年ぐらいで取り組んだ施策をお教えてください。なお、「配送計画の見直し」、「積載率の向上」、「共同輸送など他社との連携」はトラックの手配を実施されている方のみご回答ください。(いくつでも)

	1 で 実 施 の み	2 と 一 緒 に	3 に 一 緒 に	4 と 一 緒 に	5 と 一 緒 に	6 で い な い	全 体
1. 契約や納入ルールの見直し	43 26.2%	29 17.7%	32 19.5%	30 18.3%	14 8.5%	49 29.9%	164 100.0%
2. 荷待ち時間の削減施策	42 25.6%	27 16.5%	35 21.3%	19 11.6%	15 9.1%	56 34.1%	164 100.0%
3. 荷役時間の削減施策	47 28.7%	26 15.9%	31 18.9%	24 14.6%	9 5.5%	57 34.8%	164 100.0%
4. 検品などのその他業務時間の削減	35 21.3%	16 9.8%	30 18.3%	14 8.5%	8 4.9%	82 50.0%	164 100.0%
5. 配送計画の見直し	61 37.2%	19 11.6%	28 17.1%	20 12.2%	10 6.1%	57 34.8%	164 100.0%
6. 積載率の向上	48 29.3%	17 10.4%	34 20.7%	21 12.8%	12 7.3%	62 37.8%	164 100.0%
7. 稼働率の向上	79 48.2%	17 10.4%	21 12.8%	26 15.9%	9 5.5%	42 25.6%	164 100.0%
8. 中継輸送等の他社との連携	16 9.8%	17 10.4%	9 5.5%	18 11.0%	0 0.0%	117 71.3%	164 100.0%
9. 共同輸送など他社との連携	17 10.4%	14 8.5%	8 4.9%	18 11.0%	7 4.3%	116 70.7%	164 100.0%

紙パルプでは、トラック予約受付システムを導入している物流施設の利用は少ない

■ Q54:トラック予約受付システムを導入している物流施設(倉庫等)を利用もしくは利用したことがありますか。

(単一回答)	回答数	割合
1. はい	14	9.7%
2. いいえ	130	90.3%
全体	144	100.0%

期待する効果が得られにくいとの指摘

- Q57:トラック予約受付システムを利用すれば、荷待ち時間が削減され、1日あたりの運送量が増加するなど、ドライバーの労働環境改善や事業の経営改善に資すると考えられますが、そのトラック予約受付システムの利用をドライバーに命じない理由は何ですか。

その他 (自由回答)	荷下し先では有効だと思う 荷積は長距離優先地場は後回し
	発送側のシステムが対応できていない

その他 (自由回答)	積込する倉庫数が複数あり、保管している商品も多岐にわたるため、事前に倉庫バースの差配をすることが難しいため
---------------	---

予約受付システムの利用は運送事業者として把握していないケースが6割

■ Q58:ドライバーがトラック予約受付システムを利用したかどうか、運送事業者として把握していますか。

(単一回答)	回答数	割合
1. はい	49	34.0%
2. いいえ	95	66.0%
全体	144	100.0%

紙パルプでは、トラック予約受付システムを導入例は少ない

- Q60: 貴社の物流効率を高めるために、貴社の拠点でトラック予約システムを導入している例はありますか。

(単一回答)	回答数	割合
1. トラック予約システムを導入している	2	10.0%
2. トラック予約システムを導入していない	18	90.0%
全体	20	100.0%

紙パルプでは、トラック予約受付システムを導入例は2箇所のみ

■ Q61:トラック予約受付システムを導入している御社の代表的な拠点を1つお教えてください。

(単一回答)	回答数	割合
1. 紙・パルプ製品の工場や倉庫	1	50.0%
2. 卸売業・代理店の倉庫	1	50.0%
3. 小売り量販の物流センター	0	0.0%
全体	2	100.0%

トラック予約受付システムを導入されていると利用率は高い

- Q62: 先述のトラック予約受付システムを導入する施設での、一日当たりの施設利用のトラック台数のうち、概ね何%程度が予約システムを利用していますか。トラック予約システムを導入しているが、利用されていない場合には、「0」%とご回答ください。

(自由回答)	95%
	80%

トラック予約受付システムの入力は、ドライバーと3PL・倉庫事業者の1社ずつ

- Q66: 先述のトラック予約受付システムを導入する施設で、実際に予約を行っている主体別の割合をお教えてください。※実際にはまだ予約を行った事がない場合は、「実際に予約を行ったことはない」を「10」割とご回答ください。

(割合回答)	回答1	回答2
1. ドライバー	8割	0割
2. 3PL・倉庫事業者	0割	8割
3. 運送事業者	2割	2割
4. 発荷主	0割	0割
5. その他の主体	0割	0割
6. 実際に予約を行ったことはない	-	-
全体		2

導入例は少ないが、興味のある企業は多い

■ Q69: 貴社の物流効率を高めるために、今後、トラック予約受付システムを導入する予定はありますか。

(単一回答)	回答数	割合
1. 導入予定がある	0	0.0%
2. 導入予定はない	7	38.9%
3. さしあたり導入予定はないが、興味はある	11	61.1%
全体	18	100.0%

今後は契約や納入ルールの見直しに興味のある企業が多い

■ Q70: 貴社の物流効率を高めるために、今後取り組んでみたい施策をお答えください。なお、「配送計画の見直し」、「積載率の向上」はトラックの手配を実施されている方のみご回答ください。(いくつでも)

- 最も多いのが「契約や納入ルールの見直し」(70.0%)、次いで「荷待ち時間の削減施策」(65.0%)、「共同輸送など他社との連携」(65.0%)となっている。

(複数回答)	回答数	割合
1. 契約や納入ルールの見直し	14	70.0%
2. 荷待ち時間の削減施策	13	65.0%
3. 荷役時間の削減施策	8	40.0%
4. 検品などのその他業務時間の削減	5	25.0%
5. 配送計画の見直し	8	40.0%
6. 積載率の向上	10	50.0%
7. 稼働率の向上	9	45.0%
8. 中継輸送等その他社との連携	2	10.0%
9. 共同輸送など他社との連携	13	65.0%
10. その他	0	0.0%
全体	20	100.0%

自社のみで実施した施策が多く、取り組んでいないも多い

■ Q72: 貴社のトラックの生産性向上のために、ここ3年ぐらいで取り組んだ施策をお教えてください。(いくつでも)

	1 自社 のみ で実 施	2 同業 他社 と一 緒に 取 組 ん だ	3 サ プ ラ イ ヤ ー と 一 緒 に 取 組 ん だ	4 運 送 会 社 と 一 緒 に 取 組 ん だ	5 其 他 の 関 係 者 と 取 組 ん だ	6 取 組 ん で い な い	全 体
1. 契約や納入ルールの見直し	55 33.5%	25 15.2%	43 26.2%	23 14.0%	14 8.5%	41 25.0%	164 100.0%
2. 荷待ち時間の削減施策	56 34.1%	24 14.6%	47 28.7%	26 15.9%	12 7.3%	40 24.4%	164 100.0%
3. 荷役時間の削減施策	54 32.9%	20 12.2%	40 24.4%	20 12.2%	8 4.9%	58 35.4%	164 100.0%
4. 検品などのその他業務時間の削減	45 27.4%	15 9.1%	23 14.0%	14 8.5%	9 5.5%	81 49.4%	164 100.0%
5. 配送計画の見直し	77 47.0%	13 7.9%	27 16.5%	20 12.2%	9 5.5%	51 31.1%	164 100.0%
6. 積載率の向上	62 37.8%	20 12.2%	30 18.3%	21 12.8%	10 6.1%	58 35.4%	164 100.0%
7. 稼働率の向上	79 48.2%	14 8.5%	26 15.9%	21 12.8%	11 6.7%	47 28.7%	164 100.0%
8. 中継輸送等その他社との連携	18 11.0%	18 11.0%	10 6.1%	17 10.4%	3 1.8%	120 73.2%	164 100.0%
9. 共同輸送など他社との連携	17 10.4%	18 11.0%	10 6.1%	20 12.2%	6 3.7%	114 69.5%	164 100.0%

荷待ち時間の削減施策を実施が73.8%

■ Q74: 貴社のトラック稼働率を高めるために、今後取り組んでみたい施策をお答えください。(いくつでも)

(複数回答)	回答数	割合
1. 契約や納入ルールの見直し	107	65.2%
2. 荷待ち時間の削減施策	121	73.8%
3. 荷役時間の削減施策	90	54.9%
4. 検品などのその他業務時間の削減	59	36.0%
5. 配送計画の見直し	63	38.4%
6. 積載率の向上	67	40.9%
7. 稼働率の向上	68	41.5%
8. 中継輸送等の他社との連携	29	17.7%
9. 共同輸送など他社との連携	47	28.7%
10. その他	6	3.7%
全体	164	100.0%

- Q74: 貴社のトラック稼働率を高めるために、今後取り組んでみたい施策をお答えください。(いくつでも)

その他 (自由回答)	小ロット貨物を都市倉庫へまとめて輸送
	従業員の増員
	異業種メーカー物流との共同輸送

NRI

未来創発

Dream up the future.